

1600人郷土芸能、歌謡を堪能

豪華絢爛 歌謡ショー



上杉 香緒里さん



本県出身歌手も負けじと熱演



吉 勝さん



きた こみねさん



藤枝 建夫さん



会場にあふれる笑顔と感動

県民文化センター大ホール



司会のちあきまみさん

農村に笑い喜びを、都市（消費者）と農村（生産者）を結ぶ架け橋に。『第28回農村ふるさとまつり』（下山田虎之介代表世話人）が24日夜、水戸市千波町の県民文化センターで、県内各地から観客約1600人が参加して盛大に開催された。石岡ばやしや津軽民謡など郷土芸能のほか、本県出身歌手の歌謡ショー、さらにスペシャルゲスト歌手の湯美二郎さんのステージを堪能し、秋の夜長を楽しんだ。また、開演前には、ぶどうや梨などの地元農産物の即売会も実施され、大変な賑わいを見せた。

同まつりは、代表世話人の下山田氏が食糧自給率向上のため、「安全な食料は日本の大地から」を提唱。28回目を迎えた今回まで、郷土芸能の保存と掘り起こしに尽力してきた。下山田氏は、金融危機が引き起こした不況、地球温暖化・異常気象による食糧危機問題に懸念を抱いた後、「農業と農村を大切にする運動の輪を広げ、明るく豊かな郷土づくりを努力していきたい」とあいさつし、大勢の観客に感謝に言葉を送った。

この後、下山田氏は入場料の一部を県共同募金会の郡司勝美会長に寄託。郡司会長は「チャリティー運動への協力

は大変ありがたい」とお礼を述べた。まつりの一部では、県指定無形民俗文化財の石岡ばやし連合保存会による石岡ばやしで常開け。山車ばやしや獅子



藤田幸久参院議員



岡田広参院議員



加藤浩一水戸市長

舞が演じられた。続いて、浦節法さんによる津軽甲「米節」が披露された。また、加藤浩一水戸市長岡田広、藤田幸久両参院議員も駆けつけ、加藤市長は「の安心、安全を何として立しなければならぬ。行の立場から精一杯、食の節に取り組んでいきたい」と述べた。すっかり恒例となった本出身歌手のステージでは、勝（小美玉市）、雨ヶ谷吉（水戸市）、きたこみね（同藤枝建夫（同）、菅田圭（笠間市）、金沢はるみ（水市）、助川要子（ひたちなか市）、岬ゆう子（日立市）皆さんがそれぞれデビューや新曲を歌い、大きな声響飛び交うなど盛り上がった。第2部は、豪華絢爛歌謡1で、「夢追い酒」のヒット曲で知られる湯美二郎さんをはじめ、上杉香緒里さん、五郎さん、北見恭子さん、どがそれぞれの持ち歌を披露し、最後に全員で東京ラブディーを合唱。美声に聞き流され、美しいステージ衣装に客は時のたつのを忘れてた。